

益富地区 古瀬間町・志賀町 ウォーキング コース

全長4.3km

益富コース



益富交流館 (起点) → 1.1km → 古瀬間グリーンベルト入口 → 0.5km → 古瀬間グリーンベルト出口 → 1.1km → バス停 古瀬間口 → 0.85km → 志賀神社 → 0.75km → 益富交流館 (終点)

見どころ

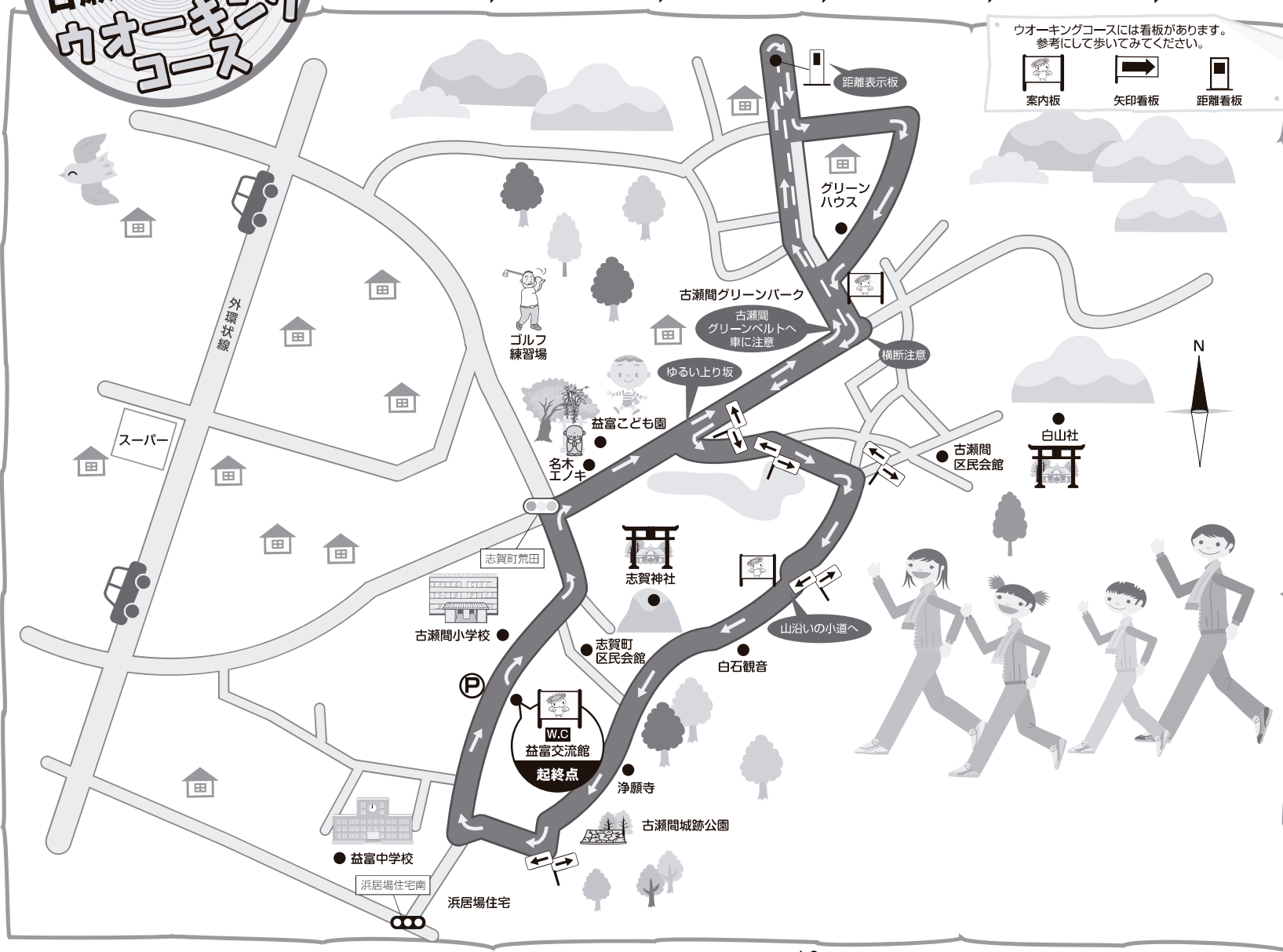
ウォーキングコースには看板があります。
参考にして歩いてみてください。



案内板

矢印看板

距離看板



●藤巻の石仏とエノキ

保元年間、今から850年程前に南朝の落武者加茂(源)太郎義定が楠木古墳の穴に閉じこもっていたといわれます。その当時荒田の八頭塚に榎の木が植えられ、現在では藤が巻きつき今も道すがらを飾りつづけています。石仏はおこりを治すと伝えられ、お賽銭を仏の前に落とし人に会わぬように帰れば病を退治できるといわれています。

●古瀬間城址公園

永正、大永年間頃、三河戦国時代の土塁二の廊、のろし台、砦を備えた山城の遺構を残しています。現在では高台に見張櫓が復元され、八州を展望できます。周囲には梅林があり、春には紅白の梅が楽しめます。

●白石観音

コースの一番高台になるところで、コース右手に如意輪観音菩薩が祭られています。江戸中期より安産・子宝など近郷の女人衆の信仰を集めました。特に陰暦正月と7月の月待ちは盛んで、二六夜の月が出る時現れる観音を拝めば幸せにめぐまれるという言い伝えがありました。

ウォーキングの注意

- 長い距離・時間を歩くときは水分補給を忘れずに。
- 無理せず自分の体調に合わせて歩きましょう。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 住宅の近くでは静かに歩きましょう。